

地球は石の塊
月も星も
私達も石に帰る
まばたきの間に
石の美しさは無限
其の肌を犯すことも
小さきこと
許せ

石より生を受けたので
石に生きようとして
いろいろあって
石に帰っていく私



宅間正一 (本名 詫間正一)

大正3年1月1日、甲府市太田町に生まれる。昭和8年宅間宝石彫刻研究所を開設。昭和9年仙台国立工芸指導所に内地留学。以後、山梨の伝統工芸であった水晶彫刻を芸術の域に高める。昭和27年山梨県美術彫刻協同組合設立し、副理事長となる。昭和29年日展入選。昭和33年山梨県宝石協同職業訓練所創設し、副所長となる。昭和35年個展を開催。昭和37年山梨県水晶美術彫刻組合理事長となる。昭和41年山梨県宝石協同職業訓練所所長に就任。昭和40年日本工芸会主催第12回全国伝統工芸展に初出品初入選、そのご57年迄連続入選。昭和42年第1回優秀技能章「現代の名工」に選ばれる。昭和53年黄綬褒章を受ける。昭和57年死亡。勲五等瑞宝章を授与される。享年68歳